

1 単元 場合を順序よく整理して

2 教科の目標

四つのものの中から二つをとって組をつくる組み合わせを考えることができる。

(数学的な考え方)

3 ICT活用の観点

分かりやすい発表・表現する

4 活用したICT

電子黒板セット デジタルカメラ

5 ICT活用のポイント

分かりやすく伝えるため、発表は電子黒板を使った。発表する際、子どもが解いたワークシートをデジタルカメラで撮り、その場で電子黒板に提示するという発表方法にした。ワークシートを黒板にそのまま提示することで、発表する際に発表者が黒板に書く時間が短縮され、発表に集中できると考えたためである。

6 実践の様子

問題の解き方には複数の解き方がある。そのため、まず、個人で考え、その後、複数ある解き方を比較検討するためにグループでそれぞれの考え方を話し合った。

つかむ

ドッジボールのリーグ戦での組み合わせを考えさせた。子どもたちの身近な話題であり、授業に入り込みやすいと考えたためである。

以前のお楽しみ会でのドッジボールの様子を画面に映し出した。(資料①) 子どもたちが、意欲的に取り組む姿が多く見られた。順序よく整理する方法について調べることを把握できた。



【資料①授業で使用したスライド】

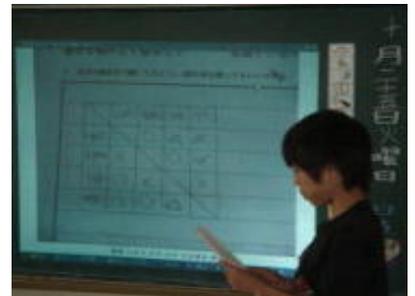
考える

どんな試合の組み合わせがあるか自由に考えワークシートに記入させた。

自分で解いた考え方をワークシートを見せながらグループの子に伝えた。それぞれの考え方を伝え合うことで、互いの考えを知ることができた。

伝え合う

黒板に映し出された自分の考え方を、ワークシートを見ながら、分かりやすく説明することができた。(資料②)



【資料②発表の様子】

7 成果と問題点

○ 発表する子どものワークシートをデジタルカメラで写真に撮り、解き方を電子黒板に提示しながら発表したことで、考えをじっくり発表することができた。

● 発表者が電子黒板を使用することに、慣れておらず、見にくい部分や強調したいところを書き込むことができなかつたために、聞き手からは、分かりづらいという声もあった。今後は、聞き手に対する意識を高めた発表ができるように指導したい。